

聞乗寺



聞乗寺外観



本堂内陣



富山県氷見市 聞乗寺

聞乗寺は現在埼玉県上尾市に本堂（聞法道場）と御堂内墓地（納骨堂）を有していますが、元来は富山県氷見市に寺籍を有する寺院です。その歴史は古く天平九年（一五八二）真言宗石動山天平寺の僧慶専により開基創建、後年本願寺第十二代准如宗主（一五七七〜一六三〇）のとき御本尊を本願寺より拝受し浄土真宗に改宗しました。現本堂は大正元年（一九一三）の建立、鐘樓堂は江戸時代の建立です。

平成二十一年六月七日本願寺大谷光淳（専如）新門様をお迎えして親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を修行、現在上尾聞乗寺と氷見聞乗寺二ヶ寺の念

仏護持相續に努めております。

現住職杉山徳成は開基慶専より十七代に当たります。首都圏に本願寺派寺院の稀少なることを憂い、本願寺派都市開教の基幹運動の方針に従って昭和五十年埼玉の地への寺院建立を発心し、離郷門信徒を結集の上現在地に新寺院を建立した

しました。昭和五十二年十二月十二日本願寺派の教会として包括、昭和五十七年十月十五日埼玉県より宗教法人設立の承認認可。昭和五十九年六月本願寺二十三代勝如上人前門主をお迎えして親鸞聖人生誕八百回忌、本堂落慶法要を修行し現在に至ります。

阿弥陀如来様を中心に心の接点として寺を身近に感じていただきたいという事で、毎月の法話会、經典輪読会、婦人会活動、壮年会活動、子供会を開催し、又文化活動として、華道、茶道教室、囲碁の会、懇親旅行、ゴルフコンペ、地域との交流の場である盆踊り大会も盛大に毎年行われ、種々な行事を通しておみのりのご縁を結び念仏相續しております。

核家族化の時代を迎え家族揃って寺院での宗教情操のご縁を念願して墓地は堂内の納骨堂（許可指令大宮保第二二六九三号）で幼少の頃から寺院への親しみをもっていただけるよう教化活動いたしております。



納骨堂

核家族化の時代を迎え家族揃って寺院での宗教情操のご縁を念願して墓地は堂内の納骨堂（許可指令大宮保第二二六九三号）で幼少の頃から寺院への親しみをもっていただけるよう教化活動いたしております。